# キーワード抽出

## フィールドの値からキーワードを探し、見つかったキーワードとその数をテーブルに出力する

### ◇機能

《キーワード抽出》は、開いているテーブルの「検索対象フィールド」の値の中からキーワードを探し、フィールドごとに見つかったキーワードの数とキーワードを追加した、新しいテーブルを作成する機能です。キーワードは複数指定でき、値の一部に含まれていれば一致します（部分一致）。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル

| 売上日 | 商品No | 摘要 |
|---|---|---|
| 2024/04/10 | A01 | 東京本社 売上 |
| 2024/04/12 | B02 | 大阪支店 |
| 2024/05/20 | A01 | 東京と大阪と東京 |
| 2024/05/25 | C03 | tokyo office |



作成したテーブル（キーワード：東京,大阪）

| 摘要 | キーワード数_摘要 | キーワード_摘要 | 商品No | 検索文字列 |
|---|---|---|---|---|
| 東京本社 売上 | 1 | 東京 | A01 | 東京,大阪 |
| 大阪支店 | 1 | 大阪 | B02 | 東京,大阪 |
| 東京と大阪と東京 | 2 | 東京,大阪 | A01 | 東京,大阪 |
| tokyo office | 0 | | C03 | 東京,大阪 |

※例は、「検索対象フィールド」が「摘要」、「その他出力フィールド」が「商品No」の場合です。

※キーワードが見つからないレコードも出力されます（キーワードの数は「0」、キーワードは空欄）。レコードは元のテーブルの順のままです。

※「キーワード数_フィールド名」は、見つかったキーワードの種類の数です。同じキーワードが何回あっても1と数えます。

※「キーワード_フィールド名」には、見つかったキーワードが「,」区切りで出力されます。

※「検索文字列」には、入力したキーワードがそのまま出力されます（「文字列」の場合）。

### ◇メニュー

《加工》-《キーワード抽出》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルがキーワードを探すテーブルになります。

※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。

※操作ログからキーワード抽出のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

#### ■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログでキーワード抽出のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※「検索対象フィールド」「その他出力フィールド」は、コマンドに記述された順に選択されます。テーブルにないフィールドは選択されません。

※「検索する文字列」は、キーワードの場合は「文字列」に、フィールドの場合は「フィールド」に設定されます。フィールドがテーブルにない場合は空欄になるので、選択し直してください。

※「大小文字区別」、条件式、保存先は、コマンドのとおりに設定されます。保存先には、「04_table」フォルダからの「フォルダ名¥テーブル名.hdf5」が表示されます。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

## ◇設定内容




1. 元のテーブル　：キーワードを探すテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。

2. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面で、「検索対象フィールド」をまとめて選択・解除できます。

3. 検索対象フィールド（必須）　：キーワードを探すフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。数値型・日付型のフィールドも選択できます。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に、作成するテーブルのフィールドが並びます。
   - 選択したフィールドごとに、「キーワード数_フィールド名」「キーワード_フィールド名」が追加されます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを選択・解除します。すべてのフィールドを選択した場合は、選択した順に関係なく、テーブルのフィールドの順になります。

4. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面で、「その他出力フィールド」をまとめて選択・解除できます。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

5. その他出力フィールド（任意）：キーワードを探さずに、そのまま出力するフィールドを選択します。選択方法は3と同じです。
   - 選択した順に、「検索対象フィールド」の後ろに並びます。
   - 「検索対象フィールド」と同じフィールドを選択しても、1回だけ出力されます。

6. 検索する文字列（必須）：キーワードの指定方法を選択します。初期値は「文字列」です。
   - 「文字列」：入力したキーワードを、すべてのレコードで探します（7）。
   - 「フィールド」：選択したフィールドの値をキーワードにして、レコードごとに探します（8。「◇キーワード抽出の結果」参照）。
   - 切り替えても、もう一方の入力内容は残ります。

7. キーワード（文字列）：探すキーワードを入力します。下に入力方法の説明が表示されます。
   - 複数のキーワードは、半角の「,」で区切ります（例：「東京,大阪」）。
   - 空白もキーワードの一部です（「東京, 大阪」では、先頭に空白がある「 大阪」を探します）。
   - 「"」は使用できません。キーワードは「,」も含めて64文字までです（超えると実行時にエラーになります）。

8. キーワードのフィールド（フィールド）：キーワードが入っているフィールドを選択します（「フィールド」を選択すると表示されます。下図参照）。
   - 各レコードの、このフィールドの値（「,」区切り）が、そのレコードのキーワードになります。
   - このフィールドは、作成するテーブルの最後に出力されます（ほかの設定で出力される場合を除きます）。

9. 大小文字区別（必須）：大文字・小文字を区別するかを選択します。初期値は「区別しない」です。
   - 「区別しない」：「tokyo」で「Tokyo」「TOKYO」も一致します。
   - 全角・半角は、どちらの場合も区別されます（「TOKYO」と「ＴＯＫＹＯ」は一致しません）。

10. 《式ビルダー》ボタン：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。

11. 条件式（任意）：出力するレコードの条件を入力します。空欄の場合は、すべてのレコードが出力されます。
   - 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
   - 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。

12. 《検証》ボタン：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

13. ファイル保存先（必須）：作成するテーブルの名前を入力します。結果は必ずテーブルに保存されます。
- テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
- 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
- テーブル名の長さは、64文字までです。
- 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
- 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
- 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。

14. 《参照》ボタン：保存画面を開き、保存先を選択できます。

15. コマンド：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。「検索対象フィールド」を選択すると表示されます。

16. 《コピー》ボタン：コマンドをクリップボードにコピーします。

17. 《キャンセル》ボタン：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

18. 《実行》ボタン：実行します（Enterキー）。テーブルが作成されると、画面が閉じ、作成したテーブルが開きます。

### ■「検索する文字列」で「フィールド」を選択した場合

キーワードの入力欄の代わりに、フィールドの一覧（8）が表示されます。一覧には、テーブルのすべてのフィールドがテーブルの順に表示されます。




## ◇キーワード抽出の結果

設定によって、結果は次のようになります。

### ■「大小文字区別」の違い

「区別しない」の場合は、英字の大文字・小文字の違いを無視して探します。例は、キーワード「tokyo」の場合です。

元のテーブル

| 摘要 |
|---|
| tokyo office |
| Tokyo-Branch |
| ＴＯＫＹＯ 店 |

作成したテーブル（区別しない）

| 摘要 | キーワード数_摘要 | キーワード_摘要 | 検索文字列 |
|---|---|---|---|
| tokyo office | 1 | tokyo | tokyo |
| Tokyo-Branch | 1 | tokyo | tokyo |
| ＴＯＫＹＯ 店 | 0 | | tokyo |

※「区別する」の場合は、「tokyo office」だけが一致します（「Tokyo-Branch」のキーワードの数は「0」）。
※「キーワード_摘要」には、データの文字ではなく、入力したキーワードの文字（「tokyo」）が出力されます。
※全角の「ＴＯＫＹＯ」は、どちらの場合も一致しません。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

### ■「フィールド」を選択した場合

各レコードの「検索語」の値をキーワードにして、同じレコードの「摘要」を探します。「検索語」は最後に出力されます。

元のテーブル

| 摘要 | 検索語 |
|---|---|
| 東京本社 売上 | 東京,大阪 |
| 大阪支店 | 東京 |
| 東京と大阪と東京 | |
| tokyo office | TOKYO |
| Tokyo-Branch | tokyo,福岡 |



作成したテーブル（フィールド：検索語、区別しない）

| 摘要 | キーワード数_摘要 | キーワード_摘要 | 検索語 |
|---|---|---|---|
| 東京本社 売上 | 1 | 東京 | 東京,大阪 |
| 大阪支店 | 0 | | 東京 |
| 東京と大阪と東京 | 0 | | |
| tokyo office | 1 | TOKYO | TOKYO |
| Tokyo-Branch | 1 | tokyo | tokyo,福岡 |

※「検索文字列」は出力されません。

※キーワードのフィールドが空欄のレコードは、キーワードの数が「0」になります。

### ■「検索対象フィールド」を複数選択した場合

選択したフィールドごとに、別々にキーワードを探します。例は、「摘要」「検索語」を選択し、キーワード「東京」の場合です。

| 摘要 | キーワード数_摘要 | キーワード_摘要 | 検索語 | キーワード数_検索語 | キーワード_検索語 | 検索文字列 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 東京本社 売上 | 1 | 東京 | 東京,大阪 | 1 | 東京 | 東京 |
| 大阪支店 | 0 | | 東京 | 1 | 東京 | 東京 |
| 東京と大阪と東京 | 1 | 東京 | | 0 | | 東京 |

※フィールドは、「検索対象フィールド」（選択した順。それぞれの後ろにキーワードの数とキーワード）、「その他出力フィールド」（選択した順）、「検索文字列」またはキーワードのフィールドの順に並びます。

### ■「条件式」を入力した場合

条件に合うレコードだけが出力されます。条件に合うレコードは、キーワードが見つからなくても出力されます。例は、キーワード「東京,大阪」、条件式「[商品No] = "A01"」の場合です。

元のテーブル

| 売上日 | 商品No | 摘要 |
|---|---|---|
| 2024/04/10 | A01 | 東京本社 売上 |
| 2024/04/12 | B02 | 大阪支店 |
| 2024/05/20 | A01 | 東京と大阪と東京 |
| 2024/05/25 | C03 | tokyo office |



作成したテーブル（その他出力フィールド：商品No）

| 摘要 | キーワード数_摘要 | キーワード_摘要 | 商品No | 検索文字列 |
|---|---|---|---|---|
| 東京本社 売上 | 1 | 東京 | A01 | 東京,大阪 |
| 東京と大阪と東京 | 2 | 東京,大阪 | A01 | 東京,大阪 |

### ■ キーワードの一致のしかた

キーワードは、フィールドの値の一部に含まれていれば一致します。値とキーワードは、次のように比べられます。

| キーワード | フィールドの値 | 結果 |
|---|---|---|
| 「東京」 | 東京本社 売上 | 一致します（値の一部） |
| 「東京」 | 東 京駅 | 一致しません（値の中の空白も区別） |
| 「 大阪」（先頭が空白） | 大阪支店 | 一致しません（キーワードの空白も区別） |
| 「tokyo」 | ＴＯＫＹＯ 店 | 一致しません（全角・半角は区別） |
| 「100」 | 1000.50（数値型） | 一致します（数値は文字として比較） |
| 「2024/01」 | 2024/01/05（日付型） | 一致します（日付は「yyyy/mm/dd」の文字） |

※「,東京,,」のように「,」の間が空の部分は無視されます。同じキーワードを2回入力しても、1つとして数えます。

※キーワードが「,」だけの場合は、エラーにはならず、すべてのレコードのキーワードの数が「0」になります。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

## ◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、保存先が空欄、「検索対象フィールド」が選択されていない、キーワードが空欄または「"」を含むなどの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。




※条件式に誤りがある場合（フィールドがない、文字と数値を比較しているなど）は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

※キーワードが64文字を超える場合も、実行時にエラーの内容を示す画面が表示されます。

## ◇操作ログ

**OPEN** "元のテーブル"
**KEYWORDEXTRACT** "キーワード" 0 **SEARCH FIELDS** [フィールド1] ･･･ **OTHER FIELDS** [フィールド2] ･･･ **IF** 条件式 **TO** "保存先" **OPEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

| キーワード | 内容 | 設定内容 |
|---|---|---|
| OPEN "元のテーブル" | キーワードを探すテーブルを開きます | 1 |
| KEYWORDEXTRACT "キーワード" | 探すキーワード（「文字列」の場合） | 7 |
| KEYWORDEXTRACT [フィールド] | キーワードのフィールド（「フィールド」の場合） | 8 |
| 0 / 1 | 大小文字区別。0：区別しない、1：区別する | 9 |
| SEARCH FIELDS [フィールド1] ･･･ | 検索対象フィールド。選択した順に記述します | 3 |
| SEARCH ALLFIELDS | すべてのフィールドでキーワードを探します | 3 |
| OTHER FIELDS [フィールド2] ･･･ | その他出力フィールド。選択した順に記述します | 5 |
| OTHER ALLFIELDS | すべてのフィールドを出力します | 5 |
| IF 条件式 | 出力するレコードの条件 | 11 |
| TO "保存先" | 作成するテーブルの名前（保存先） | 13 |
| OPEN（最後） | 作成したテーブルを開きます | — |

※「フィールド」の場合は、「"キーワード"」の代わりに「[フィールド]」と記述されます。

※すべてのフィールドを選択した場合は、「FIELDS [ ] ･･･」の代わりに「ALLFIELDS」と記述されます。

※下線部は、「その他出力フィールド」を選択した場合、条件式を入力した場合に記述されます。


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

### ■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※キーワードとテーブル名は「"」で、フィールド名は「[ ]」で囲んで記述します。キーワードの中に「"」は記述できません。

※キーワードは空にできません（「""」はエラーになります）。「,」も含めて64文字までです。

※「大小文字区別」は「0」または「1」で記述します。ほかの値はエラーになります。

※「SEARCH」と「TO "保存先" OPEN」は省略できません。最後の「OPEN」がない場合や、「TO SCREEN」（画面に表示）はエラーになります。

※テーブルにないフィールドを記述したり、保存先を元のテーブルと同じ名前（大文字・小文字の違いを含む）にしたりするとエラーになります。

**オプションの例**（「◇キーワード抽出の結果」と同じテーブル。「TO "保存先" OPEN」は省略）

| コマンドの記述 | 結果 |
|---|---|
| KEYWORDEXTRACT "東京,大阪" 0 SEARCH FIELDS [摘要] OTHER FIELDS [商品No] | 「◇機能」の例 |
| KEYWORDEXTRACT "tokyo" 0 SEARCH FIELDS [摘要] | 「Tokyo-Branch」も一致します |
| KEYWORDEXTRACT "tokyo" 1 SEARCH FIELDS [摘要] | 「tokyo office」だけが一致します |
| KEYWORDEXTRACT [検索語] 0 SEARCH FIELDS [摘要] | 各レコードの「検索語」の値で探します |
| KEYWORDEXTRACT "東京" 0 SEARCH FIELDS [摘要] [検索語] | 「摘要」「検索語」の両方で探します |
| … IF [商品No] = "A01" | 「商品No」が「A01」のレコードだけ |

**例**

```
OPEN "売上¥売上明細"
KEYWORDEXTRACT "東京,大阪" 0 SEARCH FIELDS [摘要] OTHER FIELDS [売上日] [商品No] TO "売上¥売上明細_キーワード" OPEN
KEYWORDEXTRACT [検索語] 1 SEARCH ALLFIELDS IF [売上日] >= `20240401` TO "売上¥売上明細_検索語" OPEN
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.